

防	学	の	た	火	動	険	動	生		意	い	た	毎	は	に	て			
火	生	危	ら	災	だ	性	に	の	私	識	と	ち	年	千	な	い	昨	砂	消
を	に	険	よ	が	。消	や	参	頃	自	を	い	は	数	名	る	る	年	川	防
意	な	性	い	起	火	防	加	は	身	高	う	い	件	に	。中	。十	、全	市	団
識	つ	を	の	き	器	火	し	、	の	め	こ	つ	の	上	でも	四分	国で	立	か
す	た	感じ	かを	た場	を	の大	て	砂	防	て	と	火	火	ると	、一	分に	砂	私	ら
る	今	られ	学ん	合、	使っ	切さ	いた	市の	意	お	だ	災	災	いう	件	三	川	た	ち
程	は	る	だり	、自	つて	を	。小	の少	識	か	だ	の被	生	。私	の火	万八	中	が	学
度	、学	いい	と、	分は	実際	少し	学生	年消	を	な	から	害に	し	が暮	火災	千件	学	ぶ	こ
だ	校	い	身	どの	に火	でも	のう	防	振	け	こ	遭	て	らす	で命	以	二	と	
。な	で	経	近	のよ	を消	学ん	ちに	ク	り返	い	そ、	つ	いる	砂	を落	上	年		
の	の	験	にあ	うに	した	で	火	ラ	つて	け	日	ても	。つ	川	と	の火			
で、	避	とな	る火	対	たり	お	災	ブ	み	ない	頃	お	まり	市	した	災	羽		
日	難	った	災	応	、	く	の	と	た	の	か	かし	、	で	こと	が	川		
頃	訓	。中		し		活	危	い	。小	だ	防	く	私	も	と	起	莉		
か	練							活	学	。消	火	な				き	子		
ら	の																		
、	に																		

また、消防団の現状も聞いてみた。消防団	な役割を果たしている。消防団は災害の際に重要	のだ。このように、消防団は災害の際に重要	た活動に当たったりするところができるという	知っているの、災害時には住民により即し	きたり、地域の人の顔や健康状態などもよく	ら把握しているの、いち早く危険を察知で	地域の建物や道路、河川の状態など、普段か	に住んでいる人たちで組織されているため、	の協力が必要になっ。また、その地域	消防士だけでは人数が足りない、消防団	しく話を聞いてみた。大規模災害の救助には	消防団がなぜ重要なのか、消防士の父に詳	いることがわかった。	織する地域の消防団が重要な役割を果たして	なのか、調べてみた。その一つに、大人で組	そこ、今度、防火、防災のために何が大切	しておくべきだと、改めて反省した。	対策や避難の想定など、緊張感をもつて意識	学校だけでなく、自宅や地域において、防火
---------------------	------------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	-------------------	--------------------	----------------------	---------------------	------------	----------------------	----------------------	---------------------	-------------------	----------------------	----------------------

た	も	災	ち		っ	一	め	ろ	今	の	は	と	ッ	人		ペ	や	の	員
い	地	を	の	私	て	人	に	う	か	考	関	書	ト	で	消	ー	す	に	の
と	域	し	地	も	行	ひ	、	か	ら	え	係	い	に	あ	防	ジ	た	苦	数
思	の	っ	域	、	動	と	自	°	考	方	が	て	は	れ	団	で	め	労	が
う	た	か	は	ー	し	り	分	火	え	は	な	あ	、	ば	は	勸	、	し	減
°	め	り	自	自	て	が	た	災	て	、	い	°	ー	入	、	誘	パ	て	つ
	に	と	分	分	い	普	ち	や	い	こ	思	大	自	団	地	し	ン	い	て
	貢	意	た	の	く	段	の	災	く	の	う	人	分	で	域	た	フ	る	き
	献	識	ち	命	べ	か	地	害	べ	町	か	の	た	き	に	り	レ	よ	て
	で	し	で	は	き	ら	域	か	き	で	も	こ	ち	°	住	し	ッ	う	、
	き	な	守	自	な	防	を	ら	大	暮	し	と	の	入	む	て	ト	だ	ど
	る	が	る	分	の	火	守	、	切	ら	れ	だ	町	団	十	い	を	°	こ
	大	ら	ー	で	だ	、	る	自	な	す	な	か	は	募	八	る	配	少	の
	人	行	た	守	°	防	た	分	こ	私	い	ら	自	集	歳	の	っ	し	地
	に	動	め	る		災	め	の	と	た	°	自	分	の	以	だ	た	で	域
	な	し	、	、		の	、	命	で	ち	も	分	た	パ	上	とい	り	も	も
	っ	、	防	ー		意	私	を	は	み	こ	た	ち	ン	の	う	、	団	組
	て	少	火	自		識	た	守	な	ん	、	ち	で	フ	健	°	ホ	員	織
	い	し	、	分		を	ち	る	い	な	こ	に	守	レ	康		ー	を	す
	き	で	防	た		も		た	だ	が	こ		る		な		ム	増	る

、

ー